



住北通信

第10号 発行日 R2.8.20

発行者 校長 松下 佳司

大東市立住道北小学校

TEL 872-7788 FAX 872-7789

二学期も健康一番で!

大きな事件・事故の報告もなく、また、新型コロナウイルスの感染及びPCR検査の受検についての相談・報告等もなく、無事2学期のスタートを切ることができました。2学期も、1学期と同様、感染症対策を講じながら、児童の健康・安全を最優先に教育活動を展開してまいりたいと考えておりますので、引き続き本校の教育活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、1学期の終業式と同様に、放送で**始業式**を行いました。子どもたちにお話しした内容は、以下の通りです。

今朝、みなさんが元気に登校する姿を見ることができ、とても嬉しく思っています。

校長先生の心のスイッチもONとなり、「みなさんの頑張っているところ、良くなっていくところをたくさん見つけるぞ!」という気持ちであふれています。

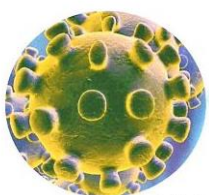
1学期の終業式でお話ししたとおり、みなさんは一人ではありません。みなさんの周りには、同じ強さを持つ、同じ勇気を持つ友だちがいます。体と体の距離は離れていても、心と心の距離は近くに保ちながら、1学期と同じように不便や面倒を感じる2学期になりますが、次にお話しすることを大切にしながら、ともに乗り越えていきましょう。

さて、新型コロナウイルスに感染しないように気をつけていながらも、今は、誰が感染しても不思議ではないという状況です。いつか自分が感染するのではないかという、不安な気持ちから、確かではない情報を広げたり、感染した人の悪口を言ったり、仲間はずれにしたりすることは、絶対に許しません。

感染してしまった人が悪いのではなく、悪いのはコロナウイルスです。いじめられないかなという不安も抱きながらコロナウイルスによる病と戦っている人に対して、みなさんなら、どのような言葉かけをしてあげますか。思いやりのある優しいみなさんですから、きっと、「早く元気になってね」とか、「つらかったね」とか、「治って良かったね」などと、思いやりのある優しい言葉をたくさん掛けてあげることでしょう。

もう一度言います。悪いのは、感染してしまった人ではなく、コロナウイルスそのものです。2学期もコロナウイルスに対抗するために、マスクの着用と手洗いの徹底、そして、お互いに手が届くぐらいの近い距離にたくさん集まらないなど、先生方から教えていただいている対策を続けていきましょう。そして、熱中症への予防も大切ですから、そのためにマスクを外す場合は、人との距離を十分にとり、おしゃべりは控えるようにしましょう。

2学期におけるみなさんの活躍を楽しみに、そして、みなさんの素敵を、一つでも多く見つけられるように、みなさんの教室への訪問を楽しみにしています。



コロナウイルスイメージ図
©CNN

第1の感染症 (生物学的感染症)

ウイルスによって引き起こされる「**疾病**」そのもの

第2の感染症 (心理的感染症)

見えないこと、治療法が確立されていないことで強い「**不安や恐れ**」を感じます

第3の感染症 (社会的感染症)

不安や恐怖が「**嫌悪・差別・偏見**」を生み出します

日本赤十字社「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

に対応する職員のためのサポートガイド」より、左図に示

されている通り、ウイルスによってもたらされる感染症には、「**3つの感染症**」があるということです。

第1の生物学的感染症は、ウイルスによってもたらされる「疾病」そのものであり、すでに徹底している手洗いや咳エチケットなどの健康活動を進めることで対処することができます。ところが、**第2の心理的感染症**、**第3の社会的感染症**に対しては、子どもの不安や恐れが重篤化しないよう、速やかにストレスを緩和し、偏見や差別を生み出さないようにマネジメントする教育が肝要と考えております。今は、誰が感染しても不思議ではないという状況にあり、正しく、人権尊重の視点に立った対応が求められています。

すでに、令和2年7月29日付けで、**水野 達朗 教育長**よりメッセージが発出されており、本校ホームページにも掲載しておりますが、改めて、ご一読下さいますようお願いいたします。

大東市教育委員会から保護者の皆様へ

令和2年7月29日

大東市教育委員会

教育長 水野 達朗

保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策に多大なるご理解と、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。現在、本市において児童生徒や学校関係者のPCR検査の陽性反応者が確認されており、その数は増加傾向にあります。感染防止対策に十分に気を付けていても、だれもが感染者となり得る可能性があります。

そこで、保護者の皆様をお願いしたいことがあります。

- ① 各校で感染拡大を防止するためには、児童生徒がPCR検査を受検された場合や、濃厚接触者として保健所から連絡を受けた場合は速やかに各学校園にご連絡をしていただく必要があります。迅速なご連絡により感染拡大を防止できる可能性が高まります。何卒よろしくお願い致します。
- ② 学校園や教育委員会に陽性反応者の情報等についてお問い合わせがありますが、保健所から学校園または市教育委員会への情報提供は個人情報保護の観点から内容が限られております。その点を何卒ご理解いただければありがたいです。
- ③ 児童生徒の陽性反応者数が増加していくことで、不安なお気持ちも増加していくことは保護者として当然のことと理解しておりますが、陽性が判明した方が悪いわけではありません。また各校園の対応に関しましても保健所の疫学調査の結果、国や府のマニュアルを遵守した対応がとられています。陽性反応者や濃厚接触者になった方々へのいじめや差別による人権侵害は断じて許されるものではありません。SNS等での個人攻撃につながる発信などお控えいただき、最大限のご配慮をよろしくお願い致します。
- ④ 学校の休校措置期間につきましては、原則、陽性反応者が確認され、保健所による濃厚接触者の特定が完了するまでの間となっております。よって、休校期間は各校の発生状況や濃厚接触者の広がりにより異なります。ご理解のほどよろしくお願い致します。

コロナ対策で最も大切なことは、日常の生活を極力維持しつつも、感染の広がりを迅速に食い止めることです。不安な気持ちはウイルス以上に広がりますが、私は同じように、勇気や思いやりも広がっていくと信じています。引き続き、保護者の皆様のご理解とお力添えをよろしくお願い致します。ともにこの難局を乗り越えましょう。

結びとなりますが、罹患された皆様の1日でも早い回復を心よりお祈り申し上げます。